



ストップ！農作業事故



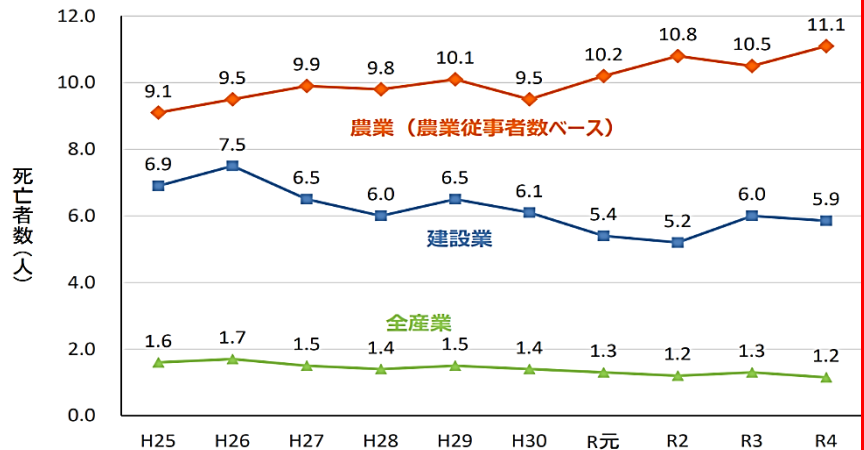
安全第一を目標に

岡山県では毎年、農作業中の死亡事故が6件から8件発生しており、高止まりが続いています。今一度、身の回りの環境を確認し、事故を起こさない意識を持って農作業に取り組みましょう。

実は農作業事故は多い

全国で年間250名前後の方が農作業中の事故で亡くなられています。農業者の死亡事故は、他の産業と比べて非常に高い割合で発生しています。家族経営が多い農業では、他産業と比べて、労働衛生法等に基づく安全対策が普及していないことも一因となっています。

就業者10万人当たり死亡事故者数の推移



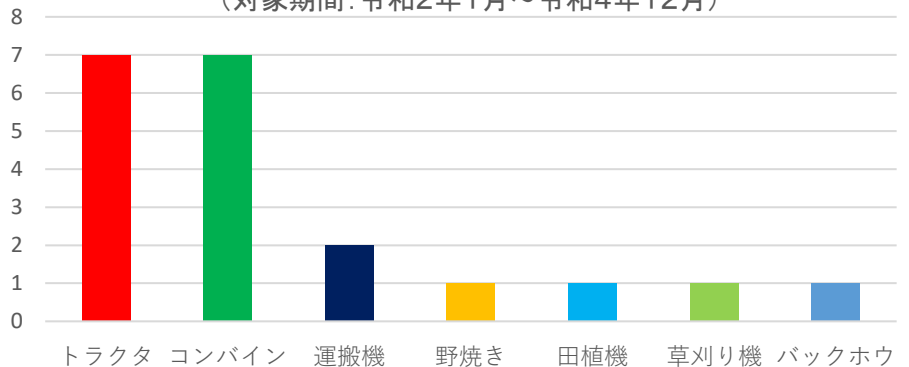
死亡者数 農業：農作業死亡事故調査（農水省）
 他産業：死亡災害報告（厚労省）
 就業者 農業：農林業センサス、農業構造動態調査（農水省）
 他産業：労働力調査（総務省）

トラクター・コンバインの事故に注意！

農業機械作業中の死亡事故が多数を占めています。全国的にトラクターによる事故が多くなっており、岡山県でもトラクターによる死亡事故が多くなっています。

また、岡山県の特徴としてコンバインの事故が多く発生しています。

岡山県内で発生した農作業死亡事故
(対象期間：令和2年1月～令和4年12月)

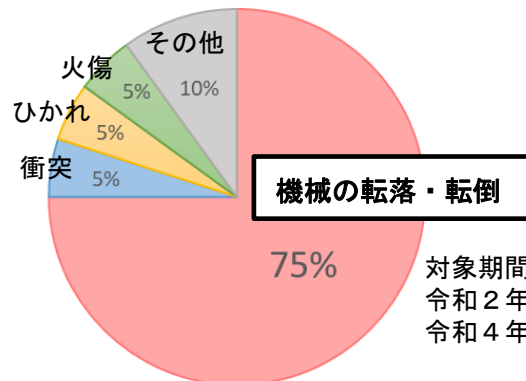


死亡事故の主な要因は

機械の転落・転倒

農作業死亡事故の要因は、「機械の転落・転倒」が約7割を占めています。また、高齢者による事故が約8割を占めています。

岡山県内で発生した農作業死亡事故の要因



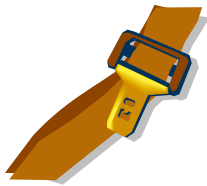
乗用型トラクターの安全対策を見直そう！

安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルト・ヘルメットの着用を徹底しましょう！

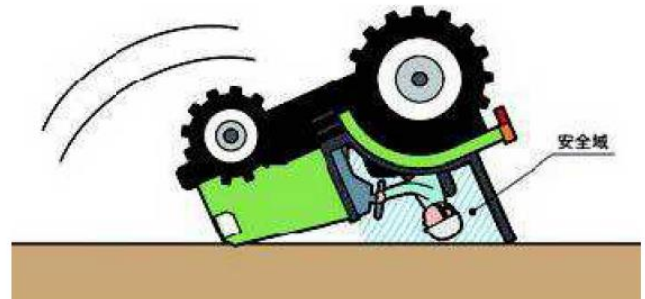
安全フレーム



3点セットで対策



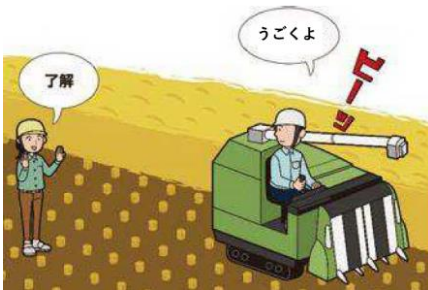
○ 安全フレームによる安全域



- ・転倒時に安全域が作られることによって、運転者がトラクターの下敷きになるのを防ぎます。
- ・安全フレームの効果を発揮するために、シートベルト・ヘルメットの着用は必須です。

作業環境を確認し安全対策を見直そう！

作業環境を確認し、危険性に配慮しましょう！



稼働の前には
「合図」の習慣



作業にあった
正しい服装・装備で



危険が潜む場所は
草刈りで見通しをよ
くしましょう。

動画でチェック

動画を参考に、作業環境や安全対策について確認しましょう。

農林水産省公式
YouTubeチャンネル「Maffchannel」
「農業における事故事例と
安全対策」



(一社)日本農業機械化協会
「シートベルトしていますか」



岡山県農業機械作業安全運動推進協議会